

PACK ON

2013-2014 No.20

岡山細胞検査士会会報

CONTENTS

PACK ON 20周年に寄せて

●前口上

お題は「今、熱中してます！」

●1年遅れの、岡山細胞検査士会役員ご挨拶

山本弘基 PRESENTS !

●国立がんセンター中央病院・研修日記

あなたに教えたいこの1冊

●コラム・うちの本棚 Vol.14

PCオタク K's Presents

●コンピュータ・ワンダーランド 2013-2014

好評連載

●宮尾行雄の ウンチク三昧 今回のお題「鮭の話」

新シリーズ、第2弾！

●ニガテリズム

3年間のご無沙汰でした

●Twins カナ・ユカ Wai Wai Land



前



PACK ON 20th Anniversary

おめでとう、PACK ON、20周年！

創刊からなんと20年が経過してしまった。ああ、時の流れのなんと早いことよ。少年、老い易く、学成り難し。

思えば、個人的に勝手に作り始めた創刊号。調子に乗って「細胞検査士認定試験・傾向と対策」を徹底的に書きまくった第2号(このコピーは全国を駆け巡り、なんとまあ東北地方を經由して埼玉県に流れ着いた、という噂である。もちろん、現在のような「メールに文書添付」なんていう便利ツールは普及していない時期だから、文字通り、コピーのコピーのコピーあたりが流れ着いたのであろうと思われる)。

第3号からは正式な岡山細胞検査士会会報として、岡山細胞検査士会の予算により製作を行うことができるようになった。ありがたや、ありがたや。その後、ちゃんとした印刷版が出せるようになり、現在はホームページでのWEB版へ。最初、ワープロ専用機で打ち出した原稿と自ら手描きしたイラストを台紙に切り貼りして版下を作り、コピー機でコピーして配るといふ、なんともアナログな作業を行っていたが、やがてレイアウトにPCを導入することになり、現在はすべてディスプレイ上で作業している。隔世の感があるが、しかし、作業の基本的な感覚は当初の「紙とはさみと糊による切り貼り作業」と何ら変わらない。あれはあれで大切な経験だったと、今にして思う。「経験に無駄はない」ってことが後になってからわかるものである。

PC導入後、否応なく使うようになった画像処理ソフトは、いろいろな意味で私のアイデンティティーに変革をもたらしたような気がする。Photoshopなんていうソフトを皆さんもご存じだと思うが(っていうか、お使いになってるでしょ、仕事で。)、これさえあれば使い次第ではデジタル画像をいかようにも作り出し、変化させ、塗り替えることができるのだ。昨今、巷をにぎわしている、かの有名論文の取り下げ問題で、その理由の一つに「画像の切り貼りがあった」と指摘されていたが、画像処理ソフトを使っていれば切り貼りの痕跡さえないように加工できてしまう(けっしてお勧めはしませんけど)。それを考えると、後からわかるように切り貼りしていたのは、切り貼りの是非はともかくとして、画像処理ソフト愛好家の目を見た場合、むしろ騙そうという作為はなかったのだらうと思えてくる。

以前に聞いた話では、長らく学会誌の投稿論文に添える写真はデジタル画像不可だったそう。さすがにデジタル全盛のご時世、デジタル写真不可では学会誌もやっていけないとみたのだらう、今やデジタル文書にデジタル画像での投稿が当たり前になっているわけだが、それは常に危うさと隣り合わせでもある。

新しい技術は、それを制御する新たなルールにのっかって使われてこそ、新しい時代を切り開く。そして、新たなルールを正しく整備し運用していく基盤となるものは、「経験」なのだろうと思う(うひゃあ、前口上に珍しく真面目なこと書いちゃったー！) (文・藤田勝)



経験に無駄はないのだ



1年遅れの

岡山細胞検査士会役員 ご挨拶

今回のテーマ

「今、熱中しています！」



会長 井上博文「熱中していること」

熱中していること、そう言われて自らを振り返った時、物事で何があるかと考えると特にない。ではそれを今、自分の中で最も冴え渡っていることに置き換えると閃きである。

閃きは決まって仕事以外の所で浮かんでくる。テレビを見ているとき、人と話をしているとき、娘と遊んでいるときなど仕事中には幾ら考えても何も浮かんでこない。

私が開発した BIOEBALUATOR も仕事以外の場で思いついた事案である。我々の担う検査でも病理検査は手作業が多く、組織診・細胞診検査工程の大筋はこの数十年何も変わっていない。

現在、学内で私が属する研究グループの2つは検査器具開発に関するものである。私を含む医学検査を専門とする者、医用工学を専門とする者、画像解析を専門とする者、プラスチック加工を専門とする者、金属加工を専門とする者、材料工学を専門とする者と様々である。ルーチンワークに就く我々、研究者、メーカーそれぞれが日常、平素の業務に小さな改善を行っているが形になって世に出るのは決まってメーカー発信のことが多い。しかしこの場合、我々現場の者にはやや使いにくい物になることもしばしばある。これまで普段交わることのないもの同士が自らの専門知識を持ちよりディスカッションし、一つの目標に向け活動する。我が大学ではメディカルイノベーションという産学官共同で開発、研究に積極的に取り組んでいる。私の属する大学病院は同業者である他の検査を担う検査技師間でも疎遠な関係でお互いが何をやっているか皆が把握で

きていない現実がある。今こそ様々な業種間でアイデア、閃きを出し合い自分の限られた世界に留めるのではなく、広く情報を共有することで平素の苦慮する事案の改善や新たな試みに挑戦するべきではないかと考える。各々の些細な閃き、アイデアが情報を共有することで多くの人に共感され、新たな検査技術が生まれ岡山から日本へ、世界へ発信されることと確信している。これが今、私が熱中して取り組んでいることである。

副会長 山本弘基「今熱中してます！！」

今熱中してます！！って言えることがなくて、趣味とか聞かれるといつも困ってしまいます。

就職してから、トライアスロンやらキーボードやら意外と結構いろんなことに手をだしてきました。去年はハワイに行った勢いで買った200\$のウクレレで遊んでましたが、今や公害と言えるような音しか出せません。10代の頃に比べると熱しやすく冷めやすい性格になったなあ、とつくづく思います。『I'm yours』ウクレレを始めるきっかけの一つとなったこの曲を今年はもう少し極めるべく熱中したいです。藤田さんほどうまくはなれませんが・・・。

検査士会ではまだわからないことが多々あり、自分が役員でいいのかどうかも謎ですが、先輩役員の方々の足を引っ張らないように頑張りますのでよろしくお願いします。

副会長 米 亮祐「今、熱中してます」

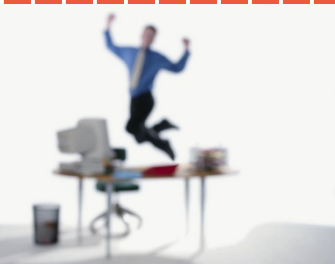
無趣味な私にとって、非常に難しいお題でございます。日々の仕事、家事(!?)に追われ、趣味に没頭する時間もお金もなし°°(ノノ)°°。

と、なると文章が進みませんので、今回も子供ネタで勘弁をm(_ _)m。

5歳の娘と3歳の息子がおりますが、子供達は今、プリキュアや仮面ライダーに熱中しております。私も一緒にみることはありますが、子供たちの影響で、過去を含め登場キャラクターを覚えることができています。間違えると子供に怒られますので、必死に覚えています。もっと覚えることがあるだろ!!と元上司に叱責されそうですが...

先日、娘と映画を見に行ったとき、知らないキャラクターが出現しました。「誰だろう!?!」とっていると、隣の席のお父さんも「誰!?!」とお嬢さんに聞いていました。どこのお父さんも子供(特に娘!!)についていこうと必死なんだなあと思いました。

今、熱中していますではなく、必死ですになってしまいました。今度も必死について行ってまいります。



幹事 畠 榮「私が一生懸命に取り組んでいること」

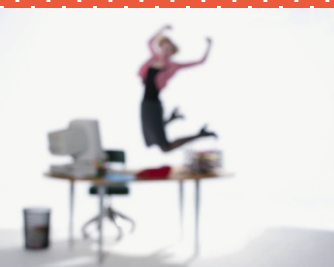
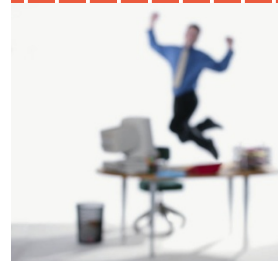
人は年齢を重ねていくことでたくさんの経験を積み、若い時期にはわからなかったことを考えたり判断したりすることができます。年齢を重ねて人格に厚みが増し、仕事や地域、家庭内で大きな尊敬を集めている人物を見かけますが、案外そういった人格者とされる人は若い時期にかなり無茶をしたり、とんがった性格をしていたことも多いものです。

私も年をとり今年で61歳になりました。そこで41年間現場で働いてきた病理検査技師として、私が一生懸命取り組んでこと、現在も私が置かれている立場で取り組んでいくことを述べさせていただきます。

人は神でもなく、機械でもありません。必ず人は誤りを犯すものです。病理検査室内でも人が関与する業務の各過程でミスが起こります。しかし、ミスが起こらないよう日々努力する必要があります。そのためには毎日行われている業務を見直し仕事のレベルを高い位置で保証する必要があります。例えばこのような誤りには、1920年米国の保険会社の H.W. ハインリッヒが事故や災害の資料分析から貴重な法則「ハインリッヒの法則」を発見報告したように、1つの大事故の陰には、中規模の同じような事故が29件起きており、さらにその裏には小さな事故が300件発生すると報告されています。大きな事故をなくすにはまず、小さなミスを見逃さず、徹底的にその原因を究明し改善していることが重要であります。このことにあるように、ミスの範囲が小さなものとするための手段を講じておかなければなりません。その制度保証とは、臨床の現場で採取され病理検査室に搬送された材料が、標本作製され、病理医が病理診断書を作成し臨床に報告されるまでの間に事務および標本作製過程で起こりうるトラブルを予想し、作成される病理診断の正確さを担保することにあると考えています。我々はこの過程が許容される一定の所要時間で間違いなく行われることを、日々管理しておく必要があります。現在、病理技師として一生懸命取り組んでいることは前述した内容です。もう一つは、後輩の指導のため41年間の経験をまとめ皆様に伝えることができると考えています。そのために「細胞診診断マニュアル」、「液状化検体細胞診診断マニュアル」、「病気を学ぶ人々のための形態と比喻—目で見る形態学—」の本の編集に取り組んでいます。多くの友、多くの仲間を得、これからも楽しみながら人生を歩みたいと思います。

幹事 佐藤妃映「今、熱中していること」

「今、熱中していること」、自分にとって楽しく心地よいことは何かな?と考えるみました。私が長い間お気に入りなことは、“香



り”です。

朝はフルーティーな爽やかな香りの紅茶やコーヒーで一日の始まりを迎え、帰宅後はアロマオイルを焚いたり、体調に合った入浴剤でリラックスしています。ルームフレグランスや柔軟剤も好きで、新しい香りに挑戦したり、その時の気分に合わせて香りを選ぶことも、楽しい時間となっています。

また、季節に特有な香りや自然の持つ香りも好きです。香りから季節の移ろいが伝わってきますし、新緑や自然から生命の神秘を感じる心を、大切にしていきたいと思っています。

皆様のお気に入りの香り、おすすめの香りや品物など、ぜひお教えいただきたいです！

岡山大学保健学科で開催される講演会するとき、門番(?)をしていますので、その際でもぜひお話しして下さい。

役員として、活動の幅を広げていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願い致します。

幹事 横山美子「今、熱中しています！」

って、まったく困った題材が来ちゃったわ。

熱中している趣味？取得したい資格とまでいかななくても、頑張っていることとか胸張って言えることとかあればなあと思うけど。

生活するのに精いっぱいな時期、忙しい時期があり、それを過ぎれば、やり残したもろもろのことを片付ける。家事にかかわるようになってから生活は一変してしまった。

ええ毎日いっぱいいっばいで、生活に熱中してますとも。

ということで、決してカッコよくもないし、胸張って言ってもないけど、今一番思いつくのは『時短革命』に熱中？洗剤のCMではないけど、主婦って家事がどんなに便利になっても、もっともっと楽になれば、時間短縮ができればという望みがあるのよ。

私の場合ちょっと違って、欲求からきた料理時短革命。これよ。何せ私、帰ったら20分以内に食べたいの。料理されたおいしいものを。

だから安くて便利な調理器には目がない。今一番頻度が多いのは、某有名家具屋でありながら調理器具、生活雑貨も扱っている店で見つけた「レンジdeカレー」。これって形はアラジンの魔法のランプの下半分みたいな形で、蓋がなく取っ手のついた器。材質はステーキ皿とか魚が焼ける電子レンジ用の皿と同じようなものだろうか。電子が乱反射して中に入れたものに効率よく熱が通るものらしい。ジャガイモとかは適当に小さくしないと柔らかくならないけど、肉も野菜も適当に切って、市販のカレールーひとかけ、水を適量入れて電子レンジにかければ5分で一人分カレーの完成。カレールーっ



て、今各メーカー競って作っているからスパイスも工夫されていて、どれもなかなかおいしい。以前テレビで実験していたけどあまりに煮込むのはスパイスの風味が飛ぶので、これぐらいの時間でも十分おいしいものができる。本場インドのカレーだってあんまり煮込まないで作るものらしい。

同じようにシチュウもこれでバッチリできる。クリームシチュウの素があれば簡単にクリームスパゲティとかもできるから、冬の間は毎日のように使っていた。やっぱりあたたかくてコクのある料理は寒い時は私の見方、生きる糧。

もちろん大きなお鍋で煮込んだカレーも魅力的。もう食べられることはおそらくないだろうけど、子供のころ作ってもらったしっかり煮込まれた甘めのカレーとか。

最後に食べたのはずいぶん前の話だけど、幼稚園前の子供を持つ友の家で。同い年の子を持つ友とお招きされ、いただいたカレーライス。ジャガイモがごろごろ入って、柔らかなお肉がたっぷり、野菜もしっかり煮込まれている甘めのお母さんのカレー。懐かしくて美味しく。食べるのに飽きた子供たちが、カレーだらけの手をこちらに伸ばして触ろうとするのは予想外だったけど(笑)。それも楽しい思い出。

昔はカレーや煮物はお鍋で作るのが当然だったのだが、今や時短料理には電子レンジは欠かせない。

電子レンジが出回った昔、いわゆるチン妻という言葉が流行った。これは出来合いの、調理されたお惣菜を電子レンジで温めてお手軽に出す妻のこと。今の電子レンジは、調理が終わるとチンって鳴るよりメロディーが流れるようになっているが。

そしていろいろ機能がついているので、かなり高度な蒸し料理もできるそう。

家で使っているのは特別な機能はないけど、今は調理器具もいろいろあって、シリコンスチーマー（シリコン製の鍋？）とか、だし醤油とか使ってあっという間に煮物とかもできるのだ。焼き魚ができる魔法のお皿も勿論持ってるわ～。

まあ偉そうなこと言えないけど、仕事から帰ってくるとエネルギー切れで、できれば20分以内には食べたいというのが本音。フライパンとかで焼いたり炒めたりしていると無意識につまみ食い、いえ味見しちゃってなんか食べる時は3分の1に減っている。私自身と調理中のものを隔離する意味でもあの箱（電子レンジ）はうってつけなんだと気が付いた。

時間に余裕があるときは別として、有り合わせのもので作る時短料理の工夫もなんか楽しい。取りあえず肉は焼けば食べれるさってね。もちろん自分のためで、おもてなし料理ではないのだが。

しかしここで言うておく。自分のために料理することは嫌いではないけど、やっぱり人様に作っていただいたお料理のありがたさよ。お金はかかるけど友達との外食は会話も楽しいし、自分の想定以外のものが出てくる喜び。

そして講習会とか、何かのお手伝いで出てくるお弁当。内心手を合わせんばかりの喜びよう。人様が作ってくださったものはなんとありがたいことか。心の中で飛び上がっていたりして。

う〜ん結局、思いつくのは終始食べ物の話。私らしいというか情けないというか。なんかなあ。でもこういう話って熱中するんだよなあ。

そして思ったのだけどね、しばし原稿書く間、熱中してたわ。まったく催促する編集長様のおかげ。今一番の熱中！

幹事 日野 寛子「今、熱中してます!？」

いつかの流行語になったでしょうか、”断捨離”。欲しがりません勝つまでは♪いえいえ、そんなに古くはないですが、モノは大切に！ご飯は残さず食べましょう〜^0^ /そんな風に育った私には、この断捨離というやつは至難の業だったりします。ときめきだけでは生きてゆけないし(笑)アレもコレも無理やりときめいて、結局、ダンスの中もなかなか減らない……。一度にザバツとものを捨てられないけど、プチ断捨離は何度もします。プチ断捨離で、ちょっとだけスッキリ。気分よく買い物に行ってまたモノが増える(笑)。そんなこんなの繰り返しですが結構楽しんでやっています。

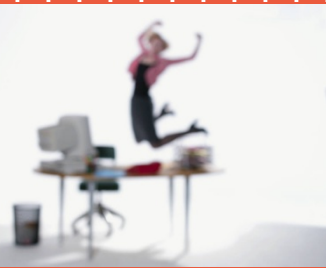
幹事 舟田和幸「今、熱中できてません」

現在熱中していることはありませんが、グランドカバーとして芝生にしようか「ヒメイワダレソウ」にしようかと迷っていますが、管理の面でヒメイワダレソウを植えてみました。その繁殖力や踏圧耐性、春季から秋季にかけての花など芝より魅力的のようですが、まだ2週間なので変化なしです。インターネット上では下記の画像通りになる予定です。

乞うご期待！！

植栽後、約2ヶ月間で一面に広がります!





幹事 香田浩美「夢中でした！」

2014年ソチで行われた冬季オリンピックに夢中(?)でした。とりわけ、フィギュアスケート、その中でも男子フィギュア、その中でも高橋大輔選手に声援を送っていました。メダル獲得の夢は果たせませんでした。今シーズンは自他共に認める最も苦しかったシーズンで、オリンピック出場も無理かもしれなかった中、彼らしい演技をみる事ができて本当によかったです。ホント、感動しました！そんなミーハーな私ですが、今期も精一杯務めますのでどうぞよろしく願いいたします。

幹事 重松由美恵「ニガテゆえに」

2013年は私事により、役員会にもほとんど参加できていなかったのですが今年は気持ちも新たに参加して行きたいと思います。皆様よろしく願いします。

ニガテリズムネタになると思いますが私のニガテ話をします。

害虫代表のGは、もちろんダメですがセミ、蜂、など飛ぶ虫が特にニガテ。ニガテゆえに過剰にセンサー効くのかやたら発見してしまいます。嫌だ嫌だと思っていると自分のほうに向かって飛んでくる気がするんですね。職場の周囲が自然豊かなので時折、大きなムカデなど発見して、心臓が止まりそうになります。

今年ももうすぐそんな季節がやってきますね。

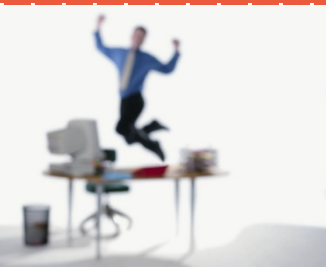
監事 三宅康之「熱中していること」

今回のテーマは「今、熱中しています」です。私にとっては何と言っても前回も書きましたが犬でしょう。現在4歳10カ月のミニチュアシュナウザー（名前はルビー）がいます。

糖尿病の治療として毎朝3Km、土日は朝と夕方、時には昼も散歩に行くので7~10Kmも歩きます。暇と言えばその通りですが、散歩のおかげで現在はHbA1cが5.6とすこぶる調子が良いです。ただし1日夕食前にインスリンの注射は欠かせません。インスリンを抜いてもいのではとの素人考えで挑戦してみましたが結果は確実に血糖値として現れました。

犬と行けるとことで面白いのは各地のアウトレットです。入り口に犬OKのシールが貼ってあります。半分ぐらいの店はOKです。穴場は倉敷天満屋です。私は犬専用のバギーに乗せて入っています。またタイムなどのホームセンターやニトリもOKです。水族館も屋島水族館や鳥羽水族館はバギーに乗せると入れます。島根のアクアスは受付にゲージがあって預かってくれます。犬と泊りに行くのも趣味の一つですのでお聞きになりたい方はご一報を。

(E-mail:myasuyuki38@yahoo.co.jp)。



監事 藤田 勝「今、熱中してます！」

このたび岡山細胞検査士会の役員をさせていただきます藤田と申します。右も左も前も後ろもわかりませんが、どうぞよろしくお願ひします。

さて、今回のお題である、私の最近の「熱中」をご紹介します。

中学2年の秋に初めてギターを手にして以来、なんとなく今までギターを続けてきた。いや、ここでの主題は「ギターに熱中してます」って話じゃない。言ってみればギターはほとんど私の日常の中に溶け込んでいる存在なので、今、とりたてて熱中してますってことではないのだけれど、その周辺事情で熱中を強いられる事態が2つばかり発生したというわけだ。

【その1】

中国・吉林大学の若いドクターが、3か月ほどの予定で職場のほうに留学している。といっても、大半の面倒をみているのはこちらのドクター陣で、私はさほどかかわるわけではない。しかしまあ頻繁に顔を合わせているし、時々話しをする機会もあったりして（日本語はできないので、カタコト英語でどうにかこうにか…）、なんとなく馴染んできたところである。とはいえ、留学予定も終盤、いよいよ帰国の日が近くなったので、スタッフ全員集まって、ささやかながら送別会を行う運びとなった。こうなると「せっかくだからアトラクションとして歌の一つでもやりましょか」てな、毎度おなじみの展が待っている。さて、何を演ろうかな…。

中国をはじめ、アジア地域周辺でよく知られている日本の歌の一つが「昴」だと聞いた。昴ならこれまで何度も歌ったことがある。よし、昴をやろう。しかし、いつもどおりに昴を歌うだけでは、なんとなくひねりがないような気もし、また、中国からの留学のドクターでもある。どうせなら中国語で歌って見たらどうだろう（やったことないけど）。YOUTUBEで「昴 中国語」で検索したら、ありました、テレサ・テンの中国語版「昴」。これを丸ごと覚えるのは至難のワザと思われたので（何しろ送別会まで1週間もない！）、サビの部分だけ覚えてみることにした。歌詞が漢字で画面に流れるが、発音は日本語と異なり、見ていてもあまり役に立たない。仕方なく、耳を澄まして音だけ聞き、聞いたまんまをカタカナで拾い出して、それをそのまま覚えていく。実にしんどいけれど、熱中できる作業である。アア シンミヤチャイライ ウンノメハン ターポイー（♪ああ、いつの日か誰かがこの道を、にあたる部分です）アア シンポン ヤムロウ フォンチューユー ヘンヘムテン…♪

夜中にひとり、ノートに書き連ねたカタカナを見ながら歌ってみたが、これは正しい中国語に聞こえているのであろうか（やってみなきゃ分からないっすよね…）。でも、この密かな練習が、なんだ



か楽しい。

【その2】

近所のおばちゃんから「あんた、ギター弾けるらしいな。ちょっと教えてくれん？」とお声がけいただいた。おばちゃんはギター経験なし。文字どおり、六〇の手習い、である。近場にギター仲間が増えるのは喜ばしいことと、二つ返事で引き受けた。で、まず最初に頼まれたのが、楽器の購入。どこかで適当なギターを見繕って買ってきてくれ、ということだったので、とりあえず岡山市内の楽器店に出向いてリサーチを行い、後日1本購入した（正直言って私の持っているギターより良い音がする。正直言って私がほしい）。

ギター教室開講は2週間後ということになり、まずはどういった方向性で進めていくかを定めるため、おばちゃんに「ギターでどんなことやってみたいですか？」と聞いてみた。なにごとにも目標があったほうが張りが出るというものだ。おばちゃんの目標設定は実に明快であった。「ギターの弾き語りで、別れの一本杉と人生の並木道を歌ってみたい」。

別れの一本杉（春日八郎）、人生の並木道（ディック・ミネ）。現在50歳以下の方には、曲名も歌手名もわからないかもしれないこの2曲。私（52歳）は、一応知っている曲ではあるのだが、リアルタイムで映像を見たことがあるかと問われたならちょっと自信がない、そんな微妙な2曲である。教えるからには、この2曲を何とか人前で披露できる程度にはなってもらいたい。理想を言えば、舞台上で弾き語りをするおばちゃん、その後ろで伴奏のお手伝いをする私。そんな師弟共演を実現してみたい。しかし、そのためには、まず教える側が課題曲に習熟する必要がある。

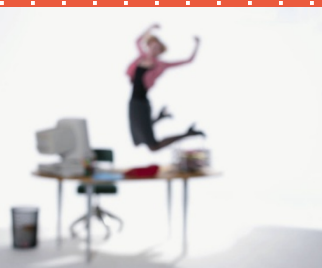
てなわけで、行きがかり上ながら「別れの一本杉」と「人生の並木道」に熱中している次第である。

実務委員 穂並聖子「今熱中していること」

実務委員三年目くらいの穂並です。

今年の抱負は、同級生（山本君）がすでに副会長をしているので、いい加減私も役員になって、もっと岡山細胞検査士会に貢献することです。知識の方も今一つなので、もっと深めていければと思います。

今熱中していることは、サッカー観戦です。去年はワールドカップ予選もオリンピックもあって大変充実した一年でした。オリンピックに至っては楽しみすぎて他にも競技があることをすっかり失念していたほどです。職員食堂の真ん中で「オリンピックってあれか！？何かすごい開会式するいっぱい競技があるやつか！？」と叫んだのは私です。一緒にいた友人、大変すまんかった。知らな



かったわけじゃないんだよ。

今年はついにワールドカップ本選です。最後まで応援したいと思います。

まだまだ頼りない人間ではありますが、精一杯頑張りますので、よろしくをお願いします。

実務委員 荒木豊子「熱中できることを早く見つけなきゃ！」

はじめまして。岡山細胞検査士会で役員の川崎医科大学附属病院 病院病理部・荒木豊子です。

熱中していると言っているのかわかりませんが、美味しいものを食べにいろいろな所に行くのが好きです。特に、最近は朝ごはんを食べに行ったり、作ったりするのが好きです。休みの日に早起きして、活動すると一週間がリセットされ、リフレッシュできるように思います。

仕事においては、熱中できることを早く見つけなきゃ！と思いながらの日々です（苦笑）

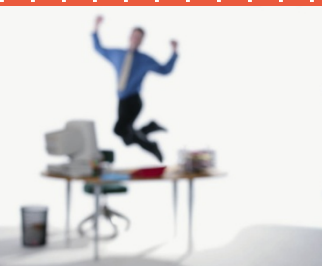
未熟なところが多々あると思いますが、一生懸命役員の仕事をやらせていただきますので、温かく見守っていただければ幸いです。

実務委員 小早川奨「まだまだ精進」

こんにちは。岡山医療センター所属、実務委員の小早川奨です。これから、役員への昇格？を目指して頑張っていきたいと思います。

今回のテーマは、現在熱中していること、ということで最近よく(?)作っている「お菓子作り」について少々書かせていただきます。大学生のころは、オープンレンジを持っておらず、電子レンジのみで幾度か試みましたが、限界を感じ、焼き菓子をあきらめ、レアチーズケーキのようなレンジを使用しないお菓子を作っていました。社会人になり、二度目のボーナスをいただいたとき、ここぞとばかりにオープンレンジを購入しました。それからというもの、暇を見つけては焼き菓子にチャレンジしております。現在最高の出来はシュークリームです。ただ、人様の口に入れるレベルではないので、まだまだ精進していこうと思っております。

長々と失礼しました。





国立がん研究センター中央病院 研修日記

2014年1月6日の年明け早々から国立がん研究中央病院での3か月間の細胞診研修が始まりました。毎朝、5分おきに次から次へと寸分の狂いもなくやってくる地下鉄と、溢れんばかりの人の多さに日本の首都・トウキョウを身をもって感じながら通勤しております。

この研修については数年前に病院からお話いただきましたが、応募資格が病理学的検査の実務経験が3年以上で、かつ細胞検査士の認定資格を有する人、ということであり、当時は私自身まだ検査士の資格も持ってなかったこともあり見送りました。その後、済生会病院の病理検査室のスタッフも増員し、再び研修のお話をいただいたので、研修に参加させていただくことになりました。この研修はがんセンターのホームページにも記載されていますが、正式研修名は『がん診療に従事する臨床検査技師指導者研修』で、独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターが主催となっています。研修目的は、『がん対策基本法およびがん対策推進基本計画の理念に基づき、細胞診および腹部超音波診断の分野に従事する臨床検査技師の指導者育成を図ることで、がん診療の均てん化の一助となること』であり、細胞診コースと腹部超音波コースがあります。日程は第1回が10月～12月、第2回が1月～3月までの年2回です。受講対象者は上記の応募資格に加え、原則として、厚生労働省が指定したがん診療連携拠点病院に在籍し、臨床検査業務に従事している検査技師で、定員は各回1～2名のようです。ちなみに今回の研修生は私だけでした。経費としての受講料は無料ですが、旅費、宿泊施設等は講者の負担となり、具体的に私に病院から支給していただいた額は約100万円です。その半分かさずが東京で、マンスリーマンション的な家賃へと消えていきます。申し訳ない気持ちとプレッシャーがありますが、それ以上に細胞診の能力を磨かねば、と思っております。

最初の一週間が過ぎ予想外の出来事もありましたが、いずれ報告したいと思います。こんな感じで研修日記を記していきますので、皆さんにお読みいただけるとありがたいです。



国立がん研究センター中央病院 (HP より)



国立がん研究センター中央病院について紹介します

なんとか元気にやってます、山本です。まもなく1月も終わろうとしています。研修では、午前中はルーチンの細胞診標本のスクリーニングをして指導を受け、午後は自分の研究テーマを自由に進めていくという状態ですが、急に研究と言われても、テーマがなかなか決まらず苦戦してます。今回は研修先の国立がん研究センター中央病院について紹介したいと思います。



場所は東京都中央区築地です。築地は最近テレビでよく見ますね。病院から歩いて5分以内のところ築地市場があり、お昼には職員も市場までご飯に行く人もいるほどの近さです。僕も裏講義と称して佐々木主任にいろんなお店に連れて行っていただきました。築地は夜よりランチが絶対お得なので行かれる方は、ぜひ早起きして混雑する前に行ってください。

敷地内には病院棟以外に、予防・検診センターや研究棟や宿舎などもあります。24時間利用可能な図書館では自由に使えるパソコンも完備してます。

約600床の病院棟は19階まであり、地下は3階まであります。病理は剖検室や病歴室とともに7階に、手術室は9階にあります。このような規模の病院なので、病理検査室も広くて、方向音痴な自分は1週間滞在してやっと位置関係が分かってきたような気がします。最初に案内されて驚いたのが病理医のいる部屋の広さとその人数の多さで、20人以上のドクターがいました。高校の職員室みたいな印象です。

病理検査室は、受付・染色の部屋、凍結切片作成・ドクター用のリンパ廓清の部屋、ホルマリン固定槽、切り出し、包埋薄切、スクリーニングなどの部屋の他に、スタッフルームがあります。クリーンベンチの数が想像以上に多く、ホルマリン対策や有機溶剤対策がしっかりされています。

病理検査室には12人の技師がいて、うち11人がスクリーナーです。仕事の分担は細胞診チーム(4人)、染色チーム(5人)、包埋・薄切チーム(3人)の3チームに分かれ、基本的に1週間ごとにチーム替えが行われます。細胞診チームで検体処理や手術材料の捺印細胞診、OSNAまでも担当するので、実際に顕微鏡見ているのは1~2人となり、想像していたよりも少人数で驚きました。また、人数が多い分スクリーニング業務が回ってくるまで1、2か月の間が空いたりちょっとイメージと違いました。

次回はがんセンターならではの業務内容をもう少し詳しく紹介していきたいと思います。

2月中旬、東京は45年ぶりの大雪となりました。二週連続で週末は驚きの世界でした。そんな、記録的な大雪の中、東京都細胞検査士会の学術講演に岡山から講師として畠さんが招致されていました。残念ながら私は参加できなかったのですが、かなりの反響があったことは言うまでもありません。東京でも畠さんは健在だったようです。さて、今回は病理での業務、システム関連で私が驚いたことを中心に紹介していきたいと思います。



まず、婦人科や呼吸器内視鏡など現場で直接ガラスに塗付するものに関しては、現場で病理番号を発番し、ラベルを貼って病理に提出しています。臨床医がオーダーをして、当日に患者受付をした時点で病理番号が発番されます。当然病理番号はランダムになりますが、特に問題はないようです。システムで管理が難しいと言われていた同一患者の複数検体、例えば内視鏡生検、廓清リンパ節の検体ラベルは、すべて部位ごとに区別してバーコード認識が可能でした。到着確認時にはすべての検体のラベルを読み取っているため、受け取り漏れのないシステムとなっており、今まで難しいと思っていたことが普通にされていました。

次に、術中迅速細胞診では1検体につき、Pap. 2枚、アルシアンブルー1枚を作成しスクリーニングします。同時にあと2枚標本作製していて、翌日CEAとBer-EP4を免疫染色し確認します。徹底的に検査をするという姿勢は他にも多々見られました。

また、組織の検体処理に関して、乳腺と肺の手術材料では捺印細胞診をとるため技師が毎回対応します。その後、写真撮影や切り出しは病理医やレジデントが行い、その後技師が指示図を見ながらカセットへ入れます。内視鏡生検と廓清リンパ節は技師が処理しますが、それ以外の生検は病理医が処理して自らカセットに入れます。技師専用のカセット印字機とは別に病理医専用の印字機があります。ホルマリン対策された切り出し台は4台あり、いつでも切り出しのできる環境が整っています。切り出し業務が100%病理医の仕事であることは知っていますが、実際、普通の病院ではなかなか難しいところでは。

驚いたことが多すぎて、書ききれません。OSNA 2台での運用、膨大な数の免疫染色のオーダーや術中迅速診断、地下の標本・ブロック管理室も圧巻でした。

その他、がんセンターでどのようにしてるか聞きたいことがありましたらご連絡ください。仮に私が認識できていないことであれば、ただちに、がんセンターの先輩方に問い合わせますので。

今回は勉強会に関して紹介します。

国立がんセンターでは、毎週金曜日にランチョン形式で呼吸器内視鏡のカンファレンスを、また、月一回は周辺の施設との合同で症例検討会を行っています

呼吸器内視鏡の先生方がとても熱心で、病理医と検査士もそれぞれの立場から、画像、細胞像、組織像をリアルタイムに投影しながら解説し討論します。私も細胞検査士の立場から細胞像の提示を数回させていただきました。採取法については現在検討中で、気管支擦過ブラシ、ブラシ洗浄液、生検捺印、器具洗浄液、気管支洗浄液などと、ひとりの患者で多いときは細胞診だけで5検体提出されています。またギムザ染色も行うので、病理検査室の検体処理枚数も相当な数となります。また、生検採取時には捺印を取り、現場でDiff Quick 染色を行い、内視鏡医自らが顕微鏡で悪性細胞の有無を確認していました。検査士は立ち合いませんが、内視鏡検査に対する真摯な姿勢が感じられます。

症例検討会は、岡山細胞検査士会で行っている会より、もう少し気楽な感じで、平日の19時から開始ということもあり、他施設からは20人前後の参加者でした。だいたい3症例くらいで、前もって回答施設は立てずに参加者が自由に意見を出し合います。私も研修中に経験した希少例の発表をしましたが、鋭い所見の読みや意見をいただき、出題者であっても聞いていて勉強になりました。

最後に細胞検査士資格認定試験対策について述べてみます。東京都の細胞検査士の数は1000人以上であり、試験対策の勉強会も豊富です。養成所も多数あるので働きながら勉強する人も公開講座に参加することができます。他にも定例の個人主催の勉強会もあり、今年は例年より少し早く2月末から始まっていました。毎週木曜の19時から講義を聞き、毎回参加者で過去問の解答作成を分担して教え合っています。また、試験が近づいてくるとがんセンターでも豊富な症例を使って鏡検指導をしているようです。受験者も指導者も仕事をしながら勉強やその準備をすることになるので大変だと思います。



今回はがんセンターの病理スタッフについて紹介します。

通勤事情のせいでしょうか、スタッフは埼玉から1名、横浜から2名、千葉から1名と12名中4名が東京都以外の地域からの通勤でした。他の都内在住の人も通勤時間1時間くらいは普通で、この4月から異動になったスタッフは通勤時間が片道2時間にも及ぶそうです。中にはがんセンターから徒歩圏内にマンションを購入している人もいます。毎月のローン額は大変な金額でした。ちなみに、駐車場を借りるだけで月に4万円以上も支払います。国立病院機構であるため異動があるのですが、がんセンターの病理・生理スタッフに関しては機構から独立した求人が行われており、病理にも5名程度が募集要員となっていました。

病理検査室には3人の主任がいて、管理職をしながら通常の業務を他のスタッフと同様に行っているので仕事量が多く、主任は自主的に早く出勤していました。病理全体の運営やシステムの見直しをしながら、細胞診の困難な症例を検討し、研修生や若い人たちの指導をしているSaさんは、スクリーニング中も絶えずPHSが鳴っていて、落ち着いて座ってられません。東京都の細胞検査士会の役員でもあり、検査室では誰よりも信頼も知識もあるSiさん、これから病理検査と遺伝子検査を密なものにしていくために、がんセンターで新しく活動していくKaさん。英語が堪能なNoさん。私の研究でデータ解析やグラフ化の仕方を親身に考えて教えてくださったToさん。昨年博士課程を修了したIkさんは書き上げた論文も10本以上で、その8割が英語の論文でした。細胞診の参考書などの執筆協力も多々されていて、自分の持っている参考書にも名前が載っており、こんなに若い人だとは思っていなかったのが驚きました。ToさんとIkさんは、養成所出身なだけあって知識も深く、研究も数多くされています。2人とも30代後半ですが、がんセンターの層の厚さをここに感じました。こんな先輩たちの背中をみながら後輩たちも日々成長しています。

さて。3月27日に私の研究発表も終え、3か月の研修もはあつという間に終わりました。どのくらい自分が成長できたのかわかりませんが、がんセンターで学んだこと、繋がった方々との縁を大事にし、少しずつ皆様に還元していきたいと思います。

最後まで研修日記を読んでいただきありがとうございました。

岡山済生会総合病院

山本弘基

『ホワイトハウスを祈りの家にした大統領リンカーン』



著者: ジョン・クワン
訳者: 吉田英里子
発行: 小牧者出版
定価: (本体1,600円+税)

コラム

うちの本棚
vol.14

2013年アカデミー賞で、スピルバーグ監督の映画「リンカーン」が主演男優賞、美術賞を受賞しました。第16代アメリカ合衆国大統領リンカーンを演じた主演のダニエル・デイ＝ルイスは出演を1年間の準備期間を条件に受諾。リンカーンが書き残した書物を読みあさり、妻役のサリー・フィールドと4ヶ月にわたって当時の文体でつづった文通を行ったとのこと。結果、二人はリンカーンとその妻メアリー・トッド・リンカーンを見事に演じ、デイ＝ルイスは過去二度の受賞に続き、この映画で史上初となる一人で三度目のアカデミー主演男優賞を獲得したのです。

実は・・・私自身はこの映画の存在を最近まで知らなかったのです。今回、本棚に本書『ホワイトハウスを祈りの家にした大統領リンカーン』を紹介する上で、更にリンカーンに関する資料を読んでおきたいと探中、昨年このような話題となった映画があったと知りました。早速DVD「リンカーン」を観てみました。うん、そうだな・・・『ホワイトハウス・・・』を読んで私の中に蘇ったリンカーンとも重なる人物像・・・でも、リンカーンの思想とその背景は、本書にあるリンカーンの残した手紙や資料を読むことで更に深く生き生きと感じ取ることができると思われました。

本書との出会いは、私の信頼する国際弁護士の佐々木満男氏のコラムに、氏の感銘し尊敬する人物として第16代アメリカ合衆国大統領エイブラハム・リンカーンが紹介されていたことに始まります。その文面を読みながら、佐々木弁護士の心をここまで強く揺り動かすリンカーンとはどんな人なのか・・・もっと知りたいと思われました。これまでの私のリンカーンについての知識はささやかで「奴隷解放宣言を

行いアメリカの奴隷制を廃止するとともに、南北戦争を終結させた偉大な大統領。育った家庭は貧しく学歴は小学校に僅かに通っただけ。リンカーンの少年時代、家には本を買うお金は無く母親の形見の聖書が唯一の教科書だったこと。しかし、それにより正しい文法のきれいな英語を身に付けた。殆ど独学で学び有能な弁護士となり、後に政治家となる。幾多の落選、困難をものともせず挑戦し続け遂には合衆国大統領となった。夫人はわがままで悪妻？家庭的には恵まれなかった。」といったもの。

まずは、佐々木氏がコラム中に引用していた本『ホワイトハウスを祈りの家にした大統領リンカーン』を読んでみることにしました。そして、この本を通し与えられたリンカーンとの出会いが素晴らしかったのです！

著者、ジョン・クワン氏は韓国人で牧師。チョンシン大学院を卒業後、現在は南ソウル恵み教会協力牧師として仕えつつ執筆活動を続けておられるとのこと。

敬虔な信仰姿勢で知られるジョン・クワン牧師は、本書序文の中で「私は、青年であったときに政治家としてのリンカーンを知った。リンカーンとの出会いは、まだキリストを知らなかった私の人生に多くの祝福をもたらした。尊敬する人というものを初めて心の中に抱くようになり、憂鬱な環境の中でも変わらず、希望の光が存在するという事実を悟った。・・私は七転び八起きのリンカーンがとても好きだ。みじめな環境から数多くの苦難と逆境を踏みつけ、倒れても起き上がり、倒れても起き上がる、起き上がりこぼしのように立っているリンカーン。彼は私の中で、小さな羅針盤となり、〈大岩の顔〉となってくれた。しばらくして私はイエス・キリストを受け入れた。そして今までとは違うリンカーン、すなわち信仰の人リンカーンに出会った。それも平凡な信仰ではなく、イエス・キリストのように多くの人に愛され、神の心にかなうリンカーンに・・。」「この本は私の創作というよりは、いろいろな本と資料の助けを得て整理したものだ。すでにリンカーンに関する本は数千冊に及んでいる。私もやはり多くの人たちの本と資料を参考にし、彼の生涯を信仰の面から整理してみた。」と書いています。

本書『ホワイトハウスを祈りの家にした・・』は以下に示すように、5つのブロックに分けられた38の小さなストーリーで構成されています。そして、そのひとつひとつのストーリーのはじめにはリンカーン自身の残した短い言葉、終わりにはストーリーに対応するように聖書の一節が添えられています。読み進むうちに歴史の中のリンカーンが、生きた一人の人物として蘇ってきます。

1、丸太小屋で育てた夢

1) 幼少期の丸太小屋、2) お母さんは私の天使、3) 世界で一番素晴らしい、新しい母、4) 本の虫、リンカーン、5) リンカーンに影響を与えた本、6) リンカーンの聖書愛

2、貧しさと失敗を克服した力

7) 正直な青年エイブ、8) 弁護士リンカーン、9) ジョシア・スピードとの友情、10) 危険な決闘、11) 母との約束、12) ユーモアと機転の男、13) 七転び八起きの信仰、14) 小さな巨人ダグラス

3、愛と忍耐の人生

15) リンカーンの妻への愛、16) ウォーリーの死、17) 優しい父リンカーン、18) リンカーンのあごひげ、19) 父は靴の芸術家、20) サプライズ・プレゼント

4、神に頼る偉大な指導者

21) リンカーンと南北戦争、22) 「断食祈祷の日」布告、23) 出さなかった手紙、24) 奴隷たちの父、25) ストウ夫人との出会い、26) 統一大統領、27) 敵を友人とする能力、28) 寛容の達人、29) 謙遜のリーダーシップ、30) リンカーンとムービーの同労、31) 祈る大統領、32) 収穫感謝祭の復活、33) リンカーン記念館、34) 大岩の顔、リンカーン、35) リンカーン、最後の瞬間、36) リンカーン銅像奉獻式での演説、37) イエス・キリストに次ぐ人気、38) 神の心にかなう人

どれも興味深い内容ですが、この中の2つのストーリーを今回特別にまるまる紹介しちゃいましょう！

では、12) 番目のストーリーから・・・映画「リンカーン」でもしばしば見られた人間リンカーンの魅力的な一面です。

12)《ユーモアと機転の男》

＊ ＊私のように昼夜緊張している人が、もし笑うことがなかったら、
とっくに死んでいただろう。 A・リンカーン ＊ ＊

歴代のアメリカ大統領の中で、リンカーンとレーガンは一番卓越したユーモア感覚を持つ指導者と言われている。しかしリンカーンの機転の早さとユーモアセンスは、レーガンより勝っていた。リンカーンは、誰よりも人間の本質を深く理解し、政治的な論争をするときも、相手と対話しながらユーモアを適切に用いて人々の関心を集め、論争を有利に導いていった。

リンカーンが上院議員選挙に立候補し、ダグラス候補（☆注・リンカーンとスチープン・A・ダグラスは、政治生活三十余年の間、ライバルとして宿命的激突を繰り広げたことで有名。しかし、二人は互いを尊重し敬うすべを知っている度量のある政治家だった。後には、党利党略を超え国の為に協力し合う素晴らしい関係を築いた）と戦った時のことである。二人が合同選挙演説をした日、ダグラス候補がリンカーンの過去の経歴を問題にし、彼を非難し始めた。

「リンカーン候補は、彼が以前経営していた店で売ってはいけない酒を売っていました。これは明らかに法に背いており、このような法に背く人が上院議員に当選したら、この国の法と秩序をどうやって正しく守っていただけるのでしょうか？ですからリンカーンは決して上院議員になってはいけない人なのです」

これを聞いた聴衆はざわめき始めた。今回はリンカーンがダグラス候補の攻撃に身動きできず、ひざまづくことになるだろうと考え、皆心配そうにリンカーンを見ていた。しかし、リンカーンは少しも動じず、憤慨した様子も見せずこのように答弁した。

「ダグラス候補が話したことは事実です。しかし、私はその店を経営していたとき、ダグラス候補は私の店で一番多くお酒を買っていた最高の顧客だったのです。しかも、私はお酒を売る場から離れて久しくなりますが、ダグラス候補は相変わらずその店の常連だそうです」

聴衆はリンカーンの機転の利いた答弁に歓声を上げ、赤くなったダグラスは、素早く話題を変え、再びリンカーンを攻撃し始めた。

「リンカーンは言葉だけの、二つの顔を持つ二重人格者です」

リンカーンは今度も慌てず、落ち着いた声で応酬した。

「ダグラス候補が私を二つの顔を持つ男であると激しく責めています。良いでしょう！彼のいうことが事実なら、皆さんによく考えてもらいましょう。もし、私が二つの顔を持つ男なら、今日のような重要な日に、なぜこのような格好悪い顔で出てきたのでしょうか？」（☆注・あごひげを生やす前のリンカーンは、ほお骨が出てとがって印象が悪かった。後に、11歳の少女からの手紙でのアドバイスを受け入れあごひげを生やした）

人々は皆手をたたき、おなかを抱えて笑った。このようにリンカーンは、ダグラス候補の攻撃にひるむことも感情的になることもせず、ユーモアを混ぜた機転のきいた答弁で聴衆を魅了した。むしろ相手の攻撃を逆手に取り、危機をチャンスに変えたのだった。

リンカーンが大統領在任中、七名の長官を入れ替えるようにという圧力を、上院議員から受けたことがある。そこでリンカーンは一人の長官だけを解任した。上院議員たちは当然、彼に強く抗議した。しかしリンカーンは次のように話し、彼らをなだめた。

「夜ごとにスカンクのせいでひどい目に遭っている農夫がいた。妻は毎日夫に『どうかスカンクたちを駆除して下さい』と頼んだ。農夫は、妻があまりに煩わすので、夜中に猟銃を持ち家の外に出て行った。どのくらいの時間がたったか、バンバンという銃声が聞こえ、しばらくして農夫が家の中に入ってきた。妻が夫に聞いた。『あなた、スカンクをみな殺したの？』農夫が笑いながら答えた。『スカンク七匹が森の中からのそのそとやってきたので、銃で一匹を撃った。すると、残りの六匹はみんな驚いて逃げてしまったよ。スカンクを一度に全部捕まえようとする、われわれまで危ない目に遭うかもしれないということはお前も知っているじゃないか！残りは恐がらせて驚かせただけで十分だよ。みんな警戒するから。』」

上院議員たちは、彼の言葉を聞いてうなずいた。そして残りの六名の長官たちは、自分の職務をさらに誠実に果たし、その後大きな業績を残したという。

**** 正しい者のくちびるは多くの人を養い、愚か者は思慮がないため死ぬ。**

(箴言 10・21) **

23)《出さなかった手紙》

**** 真実は明らかになるものだ。だまそうとし、隠そうとしても必ず明らかになる。**

A・リンカーン **

1863年7月1日から4日まで、ペンシルベニア州のゲティスバーグ地域では、南軍と北軍が一番激しい戦いを繰り広げた。4日の晩、リー将軍率いる南軍の兵士たちは、北軍に押され、降り始めた豪雨の中でポトマック川の川辺に退却した。しかし、川の水は降り注ぐ雨で氾濫し、とうてい渡ることはできなかった。

北軍が続けて追撃すれば、リー将軍の部隊は壊滅する寸前まできていた。リンカーンはこれを、戦争を早く終結させる絶好の機会と考え、「徹底的に追撃し、戦いを勝利に導け」という電報を打った。この命令は迅速にミード将軍に伝えられ、特使まで派遣し、直ちに攻撃を開始するように催促した。

しかしミード将軍は南軍を攻撃せず、作戦会議を開いて時間をかけてしまったため、川の水が引いてリー将軍の部隊は無事に川を渡ってしまったのだ。

リンカーンはこの知らせを聞いてひどく憤慨した。

「なに！？袋のねずみをそのまま逃がしたのか！われわれの部隊がもう少し早く手を打っていたら、戦争は終結できたのに。こんな絶好の機会を無駄にするとは、いったい・・・」

自分の命令に逆らい、勝利の機会を逃したミード将軍に、リンカーンは言いようのない失望感と怒りにかられ、一通の手紙を書いた。

ミード将軍！

私は、南軍総司令官リー将軍の脱出によってこれから起こるであろう不幸な事態の重大さを、あなたが正しく認識しているとは考えられません。南軍は確かに袋のねずみでした。

あなたがあの時、追撃してさえいれば、このところわれわれが手にしていた勝利とともに、戦争が終結していたことは明らかです。このような良い機会を逃してしまった今、戦争の終結を期待することは難しくなりました。

将軍が、去る月曜日に南軍を追撃したならとても賢明であったでしょう。しかし、それを行わなかったので、南軍が川を渡ってしまった今となっては、彼を追撃することは不可能です。

私はこれから将軍の活躍を期待することは無理だと考えます。将軍が神様の下さった絶好の機会を逃してしまったからです。この件を通して私は今、想像もできないほどの苦痛に陥っています。

—A・リンカーン

ミード将軍はリンカーンの手紙を受け取り、どのようなことを考えただろう？リンカーンに対して強い怒りを感じ、戦闘で死んでいく兵士たち気持ちが理解できない非常に度量の狭い指導者だと非難したかもしれない。

しかしミード将軍は、この手紙を受け取ることはなかった。その理由は、リンカーンが手紙を送らなかったからである。この手紙はリンカーンがこの世を去った後、遺品を整理していたところ、彼の引き出しの中から発見されたのだ。

ミード将軍に感情的に手紙を書いた後、それを引き出しの中に入れておいたリンカーンの心情はどのようなものだったろう？

リンカーンは自分の命令に従わず、戦争を終わらせる機会を逃したミード将軍にひどく腹が立ち、この手紙を書いたのだろう。それから、しばらく窓の外を眺めながら感慨にふけったに違いない。感情的に書いた手紙をすぐに送る代わりに、机の引き出しに入れておき、一晩中惨禍の中で戦っているミード将軍と兵士たちの姿を思い浮かべたかもしれない。そして、自分もその状況に置かれていたなら、ミード将軍のようにしていたかもしれないと考え、憤りの心を治めたのかもしれない。こうして彼は、過去の経験を教訓とし、他人を非難することは何の助けにもならないという結論を出し、朝になって自分が書いた手紙をもう一度読んだ後、引き出しの中へ放り込んだのだろう。

実際はどうであれ、引き出しの中から発見されたこの手紙は、自分の命令に逆らった将軍を彼の立場に立って理解しようと努力した、リンカーンの人柄をくみ取ることのできる手紙である。

**** 人に思慮があれば、怒りをおそくする。その人の光栄は、そむきを赦すことである。**

(箴言 19・11) **

本書は2003年韓国キリスト教出版文化賞を受賞し、韓国キリスト教出版界にスーパーベストセラーという新しい境地を開き、成人はもちろん、青少年、子どもたちにまで大きな感動と悟りを与えた作品として評価されています。良かったら是非読んでみてください。

By k子

ここからはk子からの付録です

今回、エイブラハム・リンカーン大統領の資料を探し読み、調べれば調べるほどリンカーンの卓越した人格と偉大さが思わせられました。

歴史に残る『奴隷解放宣言』と、「人民の人民による、人民の為の政治」で有名な『ゲティスバーグでの演説』にもリンカーンの心の中心が感じられるようです。以下に書き写しましたので興味のある方は一緒に読んでみて下さい。

★北米南部は綿花プランテーションが発達したが、その主たる労働力は西アフリカから購入（輸入）した黒人奴隷であった。16世紀から19世紀にかけて売買された奴隷は1000万人以上と推定される

＝奴隷解放宣言＝

リンカーンが、南北戦争中の1863年1月1日の時点で合衆国に対して反乱状態にある南部諸州の奴隷は、ただちにすべて解放するとして布告。戦争後、1865年の憲法修正第13条で実現した。

西暦1862年9月22日、アメリカ合衆国大統領より特に以下の事項を含む宣言が発せられた。

『西暦1863年1月の時点で、その人民が合衆国に対する反逆状態にあるいずれかの州もしくは州の指定された地域において、奴隷とされているすべての者は、同日をもって、そして永遠に自由の身となる。陸海軍当局を含む合衆国の行政府は、かかる人々の自由を認め、これを維持する。そして、かかる人々か、あるいはそのうちの誰かが真の自由を得るために行ういかなる活動についても、これを弾圧する行為を一切行わない。

行政府は前記1月1日に宣言によって、人民がその時点で合衆国に対する反逆状態にある州および州の地域を指定する。また、同時点で、州またはその人民が、その州の有権者の過半数が参加する選挙で選出した議員を誠意をもって合衆国議会に送っている場合には、これを否定する強力な証言がない限り、それをもってその州および、その人民が、その時点で合衆国に対する反逆状態にないことを示す確実な証拠とみなされる』

★戦争のゆくえを決したペンシルヴェニア州南部の交通の要衝ゲティスバーグの戦い（南軍7万5,000人対、北軍8万6,000人による3日間の戦闘での犠牲者は、南軍2万8,000人北軍2万3,000人＝史上最大の惨事）

★ゲティスバーグの演説＝ゲティスバーグの戦いで戦死者を弔うゲティスバーグの戦いの跡地に新しく建設する国立戦没者墓地の墓地献納式でなされた、リンカーンのわずか10の文で構成された、272語、3分間の「人民の人民による、人民の為の政治」の演説。

（聴衆はざわめき、新聞は酷評か無視したとの記録が残っている）

＝1863年11月19日、ゲティスバーグでのリンカーンの演説＝

「いまから87年前、われわれの祖先は、この大陸に一つの新しい国を生み出しました。それは、自由の中には生まれ『すべての人間は平等に作られた』という主張にささげられた一つの新しい国でした。

いまわたしたちはその国が・・・もしくは、このようにしては生まれ、このような主張にささげられた、いかなる国にせよ・・・それが、はたして長くつづき得るかどうかをテストする大きな国内戦に従事しています。そして、わたしたちは、その戦争のなかの一大戦場に、いま、こうして集まっています。

わたしたちが、ここにきたのは、この国が生きながらえるようにと願って、ここでいのちをささげた人びとのために、その最多の安らぎの場所として、この戦場の一部をささげるためであります。わたしたちが、このようなことをするのは、まったく適切でもあれば、当然でもあります。

しかし、もっと大きな意味では、わたしたちには、じつは、この土地をささげるなどということは、できないことなのです。この土地を神聖なものとして、この土地に栄光を与えることは、わたしたちにはできません。生き残ったと戦死したとも問わず、ここで戦った勇敢な人びとこそ、この土地を神聖な土地としているのです。わたしたちには、それに対して、何かつけくわえることも、へらすことも、とうていできません。全世界の人は、いまここで、わたしたちの語っていることなどを長くは記憶していないでしょう。しかし、あの勇士たちが、ここでしたことは、けっして忘れることができないでしょう。ここで戦った人びとが、ここまで、このように立派に進めてきた未完の事業に、むしろ、生きているわたしたちこそ、ささげなければならないのです。

わたしたちこそ、われわれの前に残っている偉大な任務に身をささげなければならないのです。そして、未完の事業、偉大な任務とは、ほかでもありません。これから名誉の戦死者が最大限の献身をおこなった、あのたいせつな主義に対し、わたしたちがますます彼らから献身を学びとること。また、わたしたちがこれらの戦死者の死をけっして無駄死にはさせないことをここで高く決意すること、さらにまた、この国が神の御手のもとに、もう一度自由の新たな誕生をむかえるようにすること、そして、人民の人民による、人民の為の政治を、断じてこの地上から死滅させないことであります」

－吉野源三郎全集4「エイブ・リンカーン」ポプラ社より引用－

PCオタク K's Presents

コンピュータ ワンダーランド



2013-2014

「何かと新しくなりました」の巻

2月になってやっと書き始めた上に、遅筆が自慢の自称パソコンオタク K です。

例によって、とりとめの無いコンピュータに関する話題について書きますので温かい目でよろしくお付き合いください。

まずはOSがらみから。長寿と言われていた Windows XP が 2014 年 4 月 9 日にサポートを終了します。私の予言ではこの原稿が世に出る頃にはもうすでにその日を過ぎていることでしょう（正解です！・編集担当注）。さて、このことでどんな影響が出るのかについて述べていきたいと思います。気になる個人使用では、このOSが入っていない（Vista、Win7、Win8.x）新しい高性能PCをお持ちなら、何の問題もありません。しかし古いPCを大事に使ってネット接続をし、新しい機器、ソフトの導入を考えている人なら大いに問題があります。ネット接続ではウイルスなどの悪質なプログラムがあなたを狙っています。ウイルススキャンソフトを導入していても、侵入口となる新たな穴をふさぐのはOSのUpdateが頼りですのでこれができなくなります。ネット接続していなくても、USBメモリなどから感染するのを防げなくなります。こりゃ大変。では、病院ではどうでしょうか？ 病院のネットワークは患者個人情報を外部に漏らさないために外部との接続を切り、USBメモリなどの外部記憶装置を接続させない措置をとっていることが多いと思います。この方式ではウイルス感染しにくいので大丈夫のはずです。しかし、新しい機器を接続できない弊害や、端末の増設でXPをインストールしたPCが手に入らないなどの切実な問題が起きています。電子カルテの規模が大きくなると端末数が何百台にもなり、簡単に変更できないのです。しばらくは中古PCを確保するしかありま

せん。他の企業でも同じような状況のところは少なくありません。ここは一発、総入れ替え！・・・となればいいんですけどね。

ところで年末に自宅 PC を追加しました。XP ではなく Vista64bit だったんですけど、あれこれソフトを入れて動作が遅くなりましたので。今度こそ最新の OS (Win8.1) ! と決意してお店に行ったんですが、諸事情 (勇気がなかった) から結局 Win7 にしてしまいました。Win7 でも動かないソフトもあるので 2 台とも使っていますが、キーボードとマウスが 2 つあるのは面倒です。なので「VNC」という他 PC をリモート操作できるソフトを入れています。元々、病院や企業などで端末で起きたトラブルを中央から操作して解決するためのツールですが、これはかなり便利です。Windows 標準でも「リモートデスクトップ」というソフトがあり、初心者には遠隔指導するために使われています。その他にも、今年度は Android (アンドロイド) OS のタブレット PC を 2 台 (7 インチ、10 インチ) 買いました。Android はご存じスマホの OS ですが、この勉強用に買いました。10 インチのものはスピードもタッチパネルの反応も良く、そこそこ使えますが、スマホを持っていれば字が大きいだけで電話ができない分、利用価値は低いと思います。その上、出力端子がしょぼいので液晶プロジェクタでかっこよくプレゼンもできません。もし電話できたとしても、10 インチ (約 B5 サイズ) のタブレットを耳に当てて話す姿は受け入れがたいものがあります。じゃ何でそんなもん買ったの? それはね、スマホを持っていなかったから。今は、スマホに買い換え堪能していますが、鞆の中にはまだ、たまにしか使わない PC が入っています。

それから今月 (2014 年 3 月) ソニーとパナソニックが光ディスクの業務用次世代大容量規格である「アーカイバル・ディスク」を発表しました。「現行のブルーレイディスク規格の 3 倍に当たる 300GB。将来的には 1 枚あたり 500GB ~1TB まで大容量化!」と言っているようです。業務用なので個人の記録メディアとしての使用になるかどうかはわかりませんが、今時、PC で使えないメディアは結局使えないと評価されるのではないのでしょうか。ところで大容量化の主な目的は動画の高画質記録なのかもしれませんが、ワープロの文字情報ではこの容量はどれくらいの規模になるのでしょうか? ちょっと計算してみました。

日本語の 1 文字は 16bit で表現されていて、2byte に相当します。一方、ワープロで文字を打つ速さは早い人で 1 分間に 200 文字 (400byte/min) ぐらいです。これは、1Mbyte のフロッピーディスク (今は消えつつある) をいっぱいにするためには、休憩を取らず、1 日 8 時間労働しても 1 週間かかる計算になります。では最初の問題、300Gbyte ならどれくらいかかる???

答えは、24時間労働でも1,500年以上でした。ちょっと時間に余裕があったら是非挑戦してみてください。たぶん最初の数日だけでギネスに乗れると思います。保証も報酬もありませんが……。しかしこの挑戦、突然の停電はさぞかしつらいでしょうね。

さてこの大容量、何に使うのかというと業務用の高画質映像やデータセンターのビックデータの保存・配信が主な目的のようです。デジタル高画質映像と言っても本編だけではさすがに余りますので、メイキングやインタビューなどの特典映像が満載されるのではないのでしょうか。そのうち予告容量が本編容量を抜く日も近いのでは……。

大容量化は一般社会だけではなく病理検査にも恩恵があります。それは標本のデジタル化保存です。バーチャルスライドが一般化してきつつあり、先進的な施設では全標本のバーチャル保存を始めているようですが、スキャン時間と保存容量がやはり問題となっています。組織標本では限られた領域で、拡大率も中拡大まででもおおむね良いのですが、細胞診標本では塗抹領域がガラス全面的なことに加え、最高拡大が必要となります。その上、奥行き（Z軸）方向の情報まで必要となると、かなりの保存容量が必要となることが想像できると思います。組織では1枚平均500MBぐらいで、細胞診ならこの数倍です。しかし、どんなに大容量化が進んでも、将来にわたってそのメディアのデータが消えないことと、読み取り装置が健在である保証がないところが泣き所でしょうか。トホホ。

レコード、カセットテープ、フロッピーディスク、MO、LD、MD、ベータ、VHS……世の中に普遍的な記録媒体は存在しないのでしょうか？これからが思いつかなくても、これまではどうだったのでしょうか。紙、竹、木、金属、粘土そして石などが記録媒体として使われていますが、この中では石が最も長持ちしそうです。実際、古代の石版などが現在でも読み取ることができています。では、たとえば石の表面にデジタルデータを彫り込んで記録した場合、どれくらい記録できるのでしょうか。ちょっと計算してみました。風化によるつぶれを避けるため、1ビットを1mmx1mmの穴の有無で示すとしたら、1Mbの記録には約5畳分の石面が必要です。これをもし世界最大の人工建造物であるピラミッド（高さ140m 底辺230m）の表面で行ったら約14Gbyteとなり、さすがギガ（ギザ）のピラミッドと感心しました（山田君、座布団2枚！・編集部注）。

おっと、とりとめのない話が、止めどない話に変わりかけてきたので、温かい目が冷めないうちに終わらせていただきます。次回があればまた、おつきあいでください。では、では。

——人に苦手あり!



ニガテリズム

OH!
NO!!

主宰 藤田 勝

人に歴史あり。そして、人にニガテあり。

しばしば日本人は、「ニガテはすべからく克服されるべきである」と考えがちだ。ニガテは欠点である、欠点は正さなければならない、とはたしてそうだろうか。否。誰が何と言おうが、幾つになろうが、ニガテなものはニガテなのである。本人の意思において克服されるニガテはよいとしても、ニガテを無理やりに矯正する必要などないのではないか。なぜならば、ニガテとは個性の土台にほかならぬからである。

ニガテをマイナスと考えないこと。ニガテを自分から開示し、笑い飛ばすこと。ニガテのカミングアウト、これをニガテリズムと呼ぶことにしよう。ニガテリズムとは、ニガテを負から正に転換するプロセスである。

——さあ、己のニガテを開け。己のニガテを笑え。



ニガテリズム 4 (投稿者:おなかいたい・29歳)

ニガテ度 5



●飲み物を飲めない

ご飯を食べる時、ちょっと休憩する時、誰かの家に招かれた時、そこには必ず飲み物が存在します。皆様、何が好きですか？ コーヒー、紅茶、緑茶、おしゃれな所でハーブティーなんてのもあるでしょう。実は私、これら

すべてが飲めません。もっと細かくあげますと、炭酸、100%以外のジュース、…の中でもオレンジ、アップル、グレープ以外のジュース。ちょっとしつこいのでこれくらいにしますが、こんな有様です。

高校生まではこれらが異常（っていうか特殊？）であると気づきませんでした。家には薄い麦茶（これは飲む）と牛乳しか存在しませんでしたし、コンビニのペットボトルコーナーで大半を占める茶色系（多分お茶、紅茶）は見てませんでした。

そんな私が異常に気付いたのは大学生になり、部活の面々と出会ってからです。初対面同士ですから、お互いのことを話すんですが、その時に軽く「お茶が飲めないんだよね～」と言ったら、えらい驚かれ、根ほり葉ほり聞かれ、飲めないものの多さと、それが異常であると知りました。

それだけならまだよかったんですが、当時、部活終わりに全員で夕飯を食べに行くのが決まりでした。行きつけの食堂はありがた迷惑なことに、食後のコーヒーがついてくるんです。一年は先輩のおごり、当然残すことはできません。最初は人にあげてたんですが、それも（周りが）飽きてきたのか、なんとか飲めるようにしよう！なんて動きが出てきました。

最終的に編み出した技が、半分飲んでもらう→コップギリギリになるまでシロップとミルク投入！です。甘けりゃなんとか飲めるんですね、新たな発見でした。あ、試さない方がいいですよ。これを飲んだ同学が「歯が溶ける！」つってのた打ち回りました。怖かった。

しかし、もちろん困る場面はまだまだ出てきます。人様（目上）のお家へお邪魔した時です。大抵の方が「お茶飲む～？」と聞いてくださいます。「あ、お構いなく」と返すと「じゃあコーヒー？」「あ～…、ではそれを。ありがとうございます。」……日本人はおもてなしの心ができすぎじゃないでしょうか！？ 今更「お・も・て・な・し」とか言わんでも大丈夫ですわ。と、密かに思ってます。

学年が上がり、先輩になっても安心はできません。

～実録・部活の休憩時間～

後輩1「先輩！お茶をお持ちしました！」

後輩2「！？ばか！その先輩はお茶は駄目！ポカリをお持ちしなさい！」

後輩1「す、すみません！入ったばかりで知らなかったんです！以後気を付けます！」

という春の恒例茶番（後輩にとっては恐怖劇）が繰り広げられるのです。もちろんそんなことで後輩を叱るなんてしてません。むしろ好き嫌いの多い私が悪いと同学から叱られてました。解せぬ。

あたりさわりのないよう大学時代のエピソードでまとめてみましたが、社会人になってからも、常に危険と隣合わせの生活を送っております。残念ながら社会は、お茶コーヒー紅茶が飲めない人間には優しくできてはいない…。もちろん回復の見込みはありません。自宅に常備してある飲み物も水だけで、一向に種類が増えません。すべてを受け入れ（ある意味拒絶し）このままの自分で生きていこうと思います。

最新の発見。「脱水一步手前だと炭酸はいける」



ニガテリズム5 (投稿者:横着者・52歳)

ニガテ度 2



●サービスエリアで降りたくない

旅行にしろ、仕事にしろ、高速道路を利用して移動することが時々ある。数時間にわたる移動であれば、安全走行のためにもやはり途中で休憩が必要だ。そこでサービスエリアに立ち寄ることになる。みなさん、サービスエリアは好きですか？

基本的に私は横着者である。このことについては自信を持って断言できる。ただ、その横着者としての方向性というか表出の仕方が、一般的にイメージされる横着（つまり、ゴロゴロ寝っ転がってちっとも動こうとしない日曜日のお父さんのような感じの）とは少し違っているかもしれない、とは思う。

さて、そこで話はサービスエリアに戻るわけだが、世の中にはどうもサービスエリア好きと思われるフシのある人々が、結構たくさん存在するように思われる。いや、むしろそれは多数派と見てもよいかもしれない。この人々は、サービスエリアに車を乗り入れると、嬉々として売店などに散っていき、表の屋台で仕入れたタコのから揚げとか、何とか牧場の特製プリンだとか、なにやかやと仕入れて車に戻ってくる。それはきっと楽しい作業なのだろう。理解できなくもないし、どうぞ好きにやっていただいて結構なのだが、私としてはその作業にかかわりたくない、というのが本音である。ここで私の横着者魂が目覚めるのだ。トイレに行きたい、といった物理的な必要性に迫られた状況は別として、私がサービスエリアに乗り入れて行くべきは、走行状態からの離脱、しばしの休憩、それで十分である。だから、車の外に降りることなど全く必要ではない。さらに言えば、もし3時間ほどの高速道路移動なら一度の休憩も取らず一気に駆け抜けたい。なぜなら止まるのが面倒だからである。運悪く(?) サービスエリアに止まることになったら、そのまま車の中にいたい。なぜなら面倒だから。どうです、横着者でしょう。

若いころ、時々思い立って自転車で遠出をすることがあった。こんなとき、私の横着者魂は全開となる（そもそも横着者は、自転車でわざわざ遠出などしない、という議論はともかくとして・・・）。一度走り始めたが最後、とにかく止まらない。止まるのが面倒になってくるからである。だから、50キロだろうが60キロだろうが走り続けられる。だって面倒なんだもの、止まるの。この横着者気質は、現在に至るまであらゆる場面で（当然、仕事でも）発揮されているような気がする。

かつて、地元で開催されたバス旅行に家族で参加した時のこと。高速道路を使っただけの移動だったので、当然のことながらバスはサービスエリアに立ち寄る。バスが駐車スペースに止まるや、みなドヤドヤと外に向かって出て行くのだが、バスの中に残った人影が私以外にも2つほど見える。よく見るとそれはわが子であった。親として喜ぶべきか悲しむべきか微妙なところだが、どうやら私の気質は順調に遺伝した模様である。



ニガテリズム6 (投稿者:本は電子より紙・30歳)

ニガテ度 5



●スイッチが押せない

アルフレッド・アドラー。オーストラリア出身の心理学者であり、精神科医でもある。心理学に興味のある人なら聞き覚えのある名前だろう。

このアドラーが創始した、いわゆる「アドラー心理学」が昨今の多くのビジネスマンにとってバイブル的に扱われているようだ。詳細や難しい理屈は他家に委ねるが、なぜそんなに支持を集めているかだけお教えしよう。それはこのアドラー心理学が人とのコミュニケーションにおいて非常に有意義であり、とくにリーダーシップ、モチベーション、メンタルヘルスなど、なにやら近頃よく問題として取り上げられる諸事に精通しているからである。

そんなアドラー心理学における重要なキーワードのひとつ、それは「Encouragement (勇気づけ)」である。これは、自分の内側から湧き出るモチベーション要因によって自分を動かすこと、と説明されるのだが、なんとも難解だ。要するに、何か報酬や罰があるために無理やりに自分を動かすこととは一線を画すものであり、TVのCMなどでよく耳にする「やる気スイッチ」ってやつに近いものだと思う。

わかっちゃいるのになかなか押せない「やる気スイッチ」。たとえば学生時代、なぜか試験前に普段やりもしない部屋の片づけを始めてみたり、その途中に出てきた古いマンガを読みふけてしまったり…、で結局、試験勉強にとりかかれぬ。よくある話だ。

私自信、やらないきゃいけない仕事、早急にしなければいけない仕事などそっちのけで、たいして優先度の高くない仕事が気になってやってしまうことがしばしばある。なぜならそういった優先度の高い仕事に限って、こちらの都合だけではこなせなかったり、わずらわしかったりで実に面倒くさいものだからだ。そういえば、学生の頃は定期試験の1週間前くらいがやる気のピークで、試験が近づくほどにやる気はなくなっていった。

アドラー心理学は、この「やる気スイッチ」の押し方にも触れており、さらには自分の「やる気スイッチ」だけでなく、他人の「やる気スイッチ」の押し方まで教えてくれる。ぜひ皆さんも一読していただきたい。ただ、何度読んでも未だ「やる気スイッチ」の押し方が分からないでいる私っていったい…。とほほ。



ニガテリズム7 (投稿者:ジョニーの夫・52歳)

ニガテ度 3



●似てると主張しても同意されない

これまで、必要に迫られて、時々ではあるが似顔絵を描いてきた。それが似ていたのかどうかはともかくとして、自分的にはどうも似顔絵というやつが苦手である。いや、先にお断りしておくが、ここでのニガテリズム的論点は似顔絵についてではない。本題は別にあるので先を続けよう。さて、似顔絵を描くにあたっては（描かれる方それぞれにやり方があると思うのだが）、私の場合、まず対象となる人物をよく観察し、そこからイメージの類型化を行うことが多い。平たく言うと、「この人の顔は女優の●●に似てるなあ、それをちょっと変形させたら近い感じになるな」みたいな、パターン化を頭の中で行って、それをもとに具体的な図柄へもっていくわけである。この、「●●に似てるな」という感覚について、私と他の方との間には若干のずれがあるような気がして仕方がない。仲間内で「▲▲さんて歌手の○○に似てない？」とか言っても、まず賛同を得たことがない。おおむね「へっ？」ってな顔をされるばかりである。まあ「へっ？」あたりで収まっている限り、ほとんど大きな害を及ぼすことはないが、時には失敗してしまうこともあった。

思い起こせば 20 代の後半、看護師の方々との合コン（のようなもの）があり参加した。まだ就職して間もないころ。そこに集まった看護師の女性陣も初めて見る顔ばかりである。このとき私の目の前に着席された看護師の方（当時の私よりちょっと年上に見えた）が、ある芸能人に似ている気がして、言わなきゃいいのについ言っちゃったのである。

「ジーン・ハックマンに似てるって言われたことありません？」

このときのドン引き状態は今でも脳裏にしっかり刻まれている（ジーン・ハックマンが分からない方は画像検索などでお確かめください）。

もうひとつ、こんなこともあった。職場の先輩から、「君に紹介したい人がいる、美人だから期待してね！」とありがたいお言葉をかけていただいた。この会話の直後、職場内の広報紙が届き、なんとタイミングの良いことに、紹介したいと言われたその人の部署紹介記事と写真が掲載されていたのである。先輩は喜び勇んで「ほらほら、さっき言ってた人、この人よ。どうどう？」と写真の中の女性を指差した。写真を見た瞬間、私の類型化回路は回転し、またしても言わなきゃいい一言を口走ってしまった。

「うーん、長髪のジョニー大倉、ってかんじですねえ」

この「ジョニー大倉」発言は、巡り巡ってご本人に伝わる場所となり、私の立場を危うくさせたのであった。

しかしまあ、世の中は分からないものだ。今、我が家に帰宅すると、あの「長髪のジョニー大倉」がコタツに座ってお茶飲んだりなんかしているのだから。なお幸いなことに（と云ってはジョニー大倉に失礼かもしれないけど）、現在その人にジョニー大倉の面影はほぼなくなったように思われるので、ご安心いただきたい（なにがご安心なんだか…）。

投稿募集中！

●あなたの「ニガテ」を教えてください。

●3年ぶりに戻ってきた Wai Wai! 二人は今も変わらない?!

TWINS
カ+ ユカ

wai wai
Land



作・小原明子

ユカ、どっちもどっち!?

カ+, 夢の一人暮らし

